ケアマネ通信おびひろ
第　63　号

１．帯広市介護支援専門員連絡協議会　定期総会
２．癒しのオフタイム
３．ケアマネの輪
４．お知らせ（研修会のお知らせ・審査会委員募集）

令和２年度 帯広市介護支援専門員連絡協議会 定期総会

新型コロナウイルスが地球規模で猛威を振るっており、その影響に伴い私たちの生活様式の変化を余儀なくされております。日本でも確認されてから半年以上経過する今においても収束の目途は立たっておらず、会員の皆さんも対応に追われていることと思います。

さて、例年行われている定期総会では 100 名以上の会員にお集まりいただいておりましたが、令和２年度の定期総会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から初の書面会議（5 月 27 日開催）とさせていただきました。121 名から承認をいただき議案は可決いたしました。

今年度は、研修会や交流会、学習会等の集まって行う事業が難しい状態ではありますが、一人ぼっちのケアマネつくらないためにも、つながり続けていきましょう。

癒しのオフタイム

養護老人ホーム　帯広信楽苑　山口佳輝

皆さん、いつもお世話になっております。私は令和元年６月より「養護老人ホーム帯広信楽苑」の生活相談員として勤務しています。以前は、胆振地方にある特定施設入居者生活介護のケアハウスで介護支援専門員を８年していました。

養護老人ホームとケアハウスの業務内容や法人規模の大きさの違いに戸惑いもありましたが、周りにいる経験豊富な相談員さんや支援介護員さん、他部署の職員さんのサポートの下、あっという間に１年が経ち、日々楽しく相談業務をさせていただいています。

私の癒しについてですが、帰宅後や休日に子供たちと過ごすことです。以前勤務していたケアハウスでは、21 時～22 時に仕事を終え帰宅することもあったため子供たちは既に寝てしまっていたこともしばしばありました。今は定時に帰宅ができており、帰宅後は子供たちと図鑑・絵本・漫画を読んだり、公園や河川敷に散歩に行ったり、子供たちと一緒に過ごし、成長を見守れることが私にとって「癒し」の時間となっています。子供の成長は早いと聞きます。あと何年、子供たちが私に懐いてくれるのか？そう思うと今、子供たちと過ごすことができているこの時間は至高の癒しの時間なのかもしれません。

ケ ア マ ネ の 輪

音更町地域包括支援センターロータス音更　武田克仁

皆さま、はじめまして音更町地域包括支援センターロータス音更の武田と申します。

令和２年４月１日より音更町の地域包括支援センターが直営から民間委託となり、当法人でも音更町Ｃ圏域（帯広側）を受託することになりました。

私は介護老人保健施設あんじゅ音更の主任相談員から、地域・在宅支援部門の統括管理主任として異動いたしました。今回の異動を機に、帯広市介護支援専門員連絡協議会へ入会させていただき、経験豊富な先輩方にご指導、ご鞭撻いただきたいと思っております。

皆さんもご存じの「RUN 伴」とかち代表をさせていただき、少しでも地域に貢献できるよう取り組んでおります。興味ある方はぜひ！

武田さんを模したイラスト

＜令和２年度　研修会のご案内＞

感染症予防を踏まえ、今年度の研修会を下記のとおり開催します（HP をご覧ください）。

■日　時　　令和２年 11 月 21 日（土）
■場　所　　道新ビル２階
■内　容　　ケアマネジメントと ICT の活用
■講　師　　笠松　信幸氏
■対　象　　本会及び道協会会員（先着 60 名）

研修部　白木　0155-24-9572

＜審査会委員募集＞

帯広市介護認定審査会委員募集していますので、お気軽にご相談ください。

要件

■本会会員であること
■本会を代表して、審査会委員を担えること
■所属事業所から許可が得られること
■おおむね３カ月以上（継続あり）

事務局　金井　0155-21-3292

＜事務局からのお願い＞

★連絡先や勤務先が変わった場合、名字が変更になった場合、HP にある「入退会・変更届出書」の書式を活用し、速やかに届出ください。

★会員への情報発信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。メールアドレスの登録についても、ご協力をお願いします。

★新規入会は随時受け付けています。「入退会・変更届出書」は HP から入手できますので、詳細については事務局までお問合せください。

事務局　金井　0155-21-3292

＜編集後記＞

コロナウイルス、なかなか治まりませんね。マスクを付けることが日常化していますが、顔がきちんと見えない関係というのも何とも味気ないような気がしています。

ワクチンも作られているようで、コロナ収束を期待したいところですが、まだまだウイズコロナの生活を継続していかないとならないですね。

今年は研修会や学習会の開催が難しいので、通信の記事が少ないのが難点です（泣）

筆者